

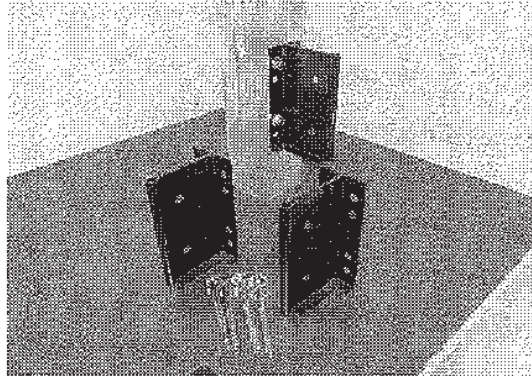
丁字型の梁受け金物

木造化でハイブリッド工法拡大へ

スカイ

東海地区の根先端部分がパイロットした製品として位置付
 大手プレカットトピンの役割を果たし、同社で
 ト事業者のスト梁のずれを防ぎ、底は構造部材の仕口欠損
 カイ(静岡県面の「座」が組み込むへの対策、特に通し柱
 磐田市、高橋材を受けることでボルの梁に対するほぞ差し
 幸嗣社長)ト緊結等の施工を容易部分やペランダ施工部
 は、梁受け部などの仕にする。分などへの導入を勧め
 口欠損問題に対応する。在来工法における仕
 金物として、オリジナ口の補完・補強に特化
 ル梁受け金物「スカイ」10、450。意匠

「スカイジョイント」を展開し
 ている。採用物件は12
 年実績で月間90棟規
 模、特に非住宅物件は
 年間実績350棟以上
 となるなど採用率を伸
 ばしている。
 スカイジョイント
 は、同社が独自開発し
 た丁字型の梁受け金
 物。丸くなっている羽



同社が独自開発した「スカイジョイント」

登録済み
 で、日本住
 宅・木材技
 術センター
 による性能
 認定(SMA
 ーク)を取
 得してい
 る。
 金物工法
 について同
 社では豊岡

拠点を中心に加工体制 今後も公共施設や集
 を敷き、各メーカー主 合住宅など木造物件の
 要10種の金物に対応し 増加、分譲住宅での採
 ている。同社のプレカ 用増加で金物活用の流
 ット加工量は月間1方 れは強まると見てお
 1500坪(12年実り、同社では提案体制
 績)だが、フル金物と を強化するとともに、
 金物併用によるハイブ 効率の良い物流体制を
 リッド工法の物件は80 さらに追求して合理化
 %以上に達している。 を図っていく方針だ。